

第1回市民公益活動サポートセンター運営協議会会議概要

- ◎日 時 : 平成27年10月1日(金) 16:30~18:00
- ◎会 場 : ミレニアムセンター佐倉 第1・2会議室
- ◎出席委員 : 森田委員、大川委員、大木委員、岩崎委員、高梨委員、固本委員、土屋委員、佐川委員
- ◎事務局職員 : 井岡自治人権推進課長、鴨志田班長、小田主査補、久保主査補
市民公益活動サポートセンター指定管理者 佐倉市社会福祉協議会
兼坂事務局長、高野センター長
- ◎議題 ①市民公益活動サポートセンター企画事業中間報告等について

1. 開会

課長：省略

2. 委員長挨拶

委員長：省略

3. 会議内容

①市民公益活動サポートセンター企画事業中間報告等について

委員長：それでは、協議事項に入らせていただきます。

佐倉市市民公益活動サポートセンター（以下、サポートセンター）の管理及び運営に関する規則第12条第2項に、「会議は、委員の過半数が出席しなければ開くことができない」と定められております。

本日は、定数10名のところ8名の出席でございますので、会議が成立しておりますことをご報告申し上げます。

本日の会議内容は「サポートセンター企画事業中間報告等」についてでございます。これについて、皆様のご意見を伺いたいと思っておりますが、まず資料の説明について事務局にお願いします。

事務局：今回委員の皆さんにご意見をいただきたい企画事業の内容はサポートセンター企画事業中間報告についてですが、こちらの事業報告に入る前に、前回開催した運営協議会において、委員の皆様よりご指摘いただいております事項について確認をしておきたいと存じます。

前回協議会では特段大きな指摘事項はございませんでしたが、検討事項としていくつかのご意見をいただきましたので、ご説明いたします。

①全登録団体を対象として企画している「全体交流会」について、前年度は準備期間が短く、参加者が少ない、運営上も問題があったという反省があったようだが、それをどのように改善して実施するのか。

②テーマ別交流会は「安心して子育て、災害時の対応」などとあるが、内容が不明瞭であるのでどのような趣旨や参加対象になるのか。

③ボランティアマネジメント講座ですが、どの団体も高齢化が進んでいるので若い人が入ってくれるような手法を学べる講座はどうか。

④全般的な話として、平日は仕事等で参加できる人とできない人がいますので、土日開催についてもバランスよく実施できるように検討したらどうか。

以上のご意見をいただいております。これらご指摘事項の改善がなされているかなどを踏まえまして、報告をお聞きいただければと存じます。

センター長：市民活動団体のつどい1回目は終了しております。「団体の理想像」、「市民活動フェスタ」、「あなたの団体にとってサポセンは」の3つをテーマにカフェ型形式のグループワークを行いました。

2回目は、フェスタの反省会を12月23日に行う予定です。テーマ別の交流については、2月予定しております。分野別交流会は終了しており「環境保全活動」をテーマに印旛沼に関する内容で、講義と現場の実地を含めて実施しました。1ページ目の説明は以上です。

委員長：ただいま「市民公益活動サポートセンター企画事業等」についてのご説明をいただきました。1ページごとに区切って、皆様のご意見を伺いたいと思います。

平成27年度企画事業につきましては、昨年度末の運営委員会で委員の皆様にご意見をお伺いし、それを反映した中で、事業が運営されていることと思います。

つきましては、今ご説明をいただいた資料の各事業について、どのように改善されたのか、こんな工夫が必要ではないかなど、細かいことでも結構ですので、ご意見を伺いたいと思います。

委員：全体交流会のもう少し詳細を知りたいので教えてください。

センター長：29団体41人の参加者を9つのグループに分け、3つのテーマについて話し合い、時間を区切って参加者をシャッフルしながら、より多くの人と関わられるように運営しました。全体的にも大変盛り上がりおりました。

委員：参加者はどのような感想を持ったのでしょうか。

センター長：テーマに対して答えを出さない自由に意見を言う場であったので、忌憚のない意見がたくさん出ましたし、団体間の交流にも繋がったと思います。

委員：私自身もこの交流会に参加し、会場内は大変な盛り上がりでした。ただし、たった一度の交流の場であり、有効だったかは何とも言えないところというのが感想です。

委員：参加団体の分野の偏りはありましたか。

センター長：登録団体すべてに参加募集をかけましたので、偏りは特にありません。

委員：せっかくの良い事業ですので、今後に繋げていくことが必要と感じます。内容については同じでも良いかもしれませんが、単発で終えるのではなく、2回くらいは行った方がより交流に繋がるのではないかと感じました。

委員長：テーマ別交流会についての意見はございますか。

委員：目的が漠然としていて内容が分かりません。具体的な意図やねらい、対象等を教えてください。

センター長：ガードボランティア等の子どもの見守りを行う団体や子育て支援関連の団体を対象に、通学の時に災害が起きたらどうするのかといった、市民活動の最中に災害が起こった場合の子どもへの対処について話し合いたいと考えております。なお、市の防災防犯課の職員を招いて講演会も考えております。

委員：災害時の対応については関心が高いと思います。もう少しテーマを具体的にしてお話し合った方が良いのではないのでしょうか。

センター長：災害時の対応といってもサポートセンターに登録している団体が対象の範囲ですので、登録団体に声掛けしてサポートセンターの範囲内でやっていきたいと思っております。

委員：災害というとシリアスになってしまいますが、交流が目的なのか、イメージはどのようなものですか。

センター長：スクールガードボランティアに横の関係を築いてもらいたいと考えており、情報交換の場として捉えております。

委員：まず場を作ってのもらうことが大事だと思います。

委員：そういう意図でよろしいですか。

センター長：そのとおりです。まさに場づくりと捉えています。

事務局：募集の際には目的がきちんと伝わるように広報の手法を検討いたします。

委員長：分野別交流会についての意見はございますか。

委員：具体的な事業内容を教えてください。

センター長：印旛沼をフィールドに活動している2団体を講師としてお招きし、ビデオと講義による座学と、魚の鑑賞、参加団体の活動紹介、現場確認を行いました。

委員：昨年度はどのようなテーマで行いましたか。

センター長：同じく環境分野でした。

委員：登録団体の内、環境保全団体は26ある中で半分ぐらいの参加になっています。関連団体にもう少し呼びかけるとともに、2年間同じ内容のテーマですので、来年度以降は新たなテーマも視野に入れてください。

委員長：2ページ目の説明を求めます。

センター長：このページは参加促進のためのイベントや講座として、新たな担い手の発掘につながる事業を記載しております。

「市民公益活動ポスター展」は、団体が日頃の成果や参加者募集等についてA2版のポスター作製したものを展示する事業で、今年度5か所実施予定です。

2つ目は「ボランティア・市民活動フェスタ 2015in 佐倉」です。市民の方に幅広くボランティア活動を知ってもらうための様々なイベントを催します。11月22日に開催を予定しておりますので、委員の皆様もぜひご来場いただければと存じます。

次の「出会いフォーラム」は市民活動に興味を持っていただく機会を提供する場として、

1 回目を市民活動フェスタ内で実施する予定で、10 団体の発表をお願いしております。
2 回目は、順天堂大学の学生を巻き込んで実施したいと考えており、現在大学側と調整中でございます。2 ページ目のご説明は以上です。

委員：フェスタの趣旨からすると、会場の場所がずっと同じでは目的達成ができないのではないのでしょうか。

センター長：毎年検討課題として持ち上がっておりますが、日程の調整や駐車場の確保する上で折り合いがつきませんでした。ただし、まだ3回目ということもあり、場所を固定することでイベントそのものを定着させるという意味合いからも、もう少し同じ会場で実施したいと考えております。

委員：中央公民館の会場は奥の部屋まで来場者が入ってこないという課題があったかと思えますがいかがですか。

センター長：おっしゃるとおり来場者が中央公民館の奥の部屋まで足を運んでいただけなかったという課題があります。フェスタ実行委員会で工夫、検討して参ります。

委員：中央公民館の前の道路を封鎖して借り切ってみたらいかがでしょうか。

センター長：生活道路を止めるのは厳しいことですし、迂回路の設定含めて警察の要求もありますので即答はできかねます。

委員：前の道路を止めないと昨年と変化は求められません。

事務局：実行委員会形式で進めており、本年度の実施は難しいものと考えておりますので、その点ご理解をいただき、来年度以降の検討課題にさせていただきたいと存じます。

委員：順天堂大学の学生を対象とした出会いフォーラムですが、どのような団体が参加するのでしょうか。また、敬愛大学での実施は検討されているのでしょうか。

センター長：昨年度は大学側から指定があったスポーツ関連の団体から4団体が参加しました。今年も大学側と協議して決めていきたいと思っております。大学との連携事業は昨年初めてのことでしたので、事業の内容を精査しながら、今後は他の大学へのアプローチも検討して参ります。

委員長：3 ページ目の説明を求めます。

センター長：3 ページ目につきましては、すでに市民公益活動を実施している団体の方々を対象とした事業となります。「パソコンスキルアップ講座」については、ニーズの高い、チラシづくり、エクセルの操作、パワーポイントの操作を実施いたしました。本来は3つのテーマをそれぞれ1日で実施する予定でしたが、参加希望者が多かったため、それぞれ2日、3日追加して実施しました。

「ボランティア講座」につきましては、平成28年1月開催に向けて、現在内容を検討中でございます。3 ページ目のご説明は以上です。

委員：前回の会議の意見として、働いている人が多いので平日だけでなく、休日の開催も検討して欲しいという意見がございましたが、その点は改善されているようです。

委員長：ボランティア講座は毎年テーマ内容に苦慮されているようですが、委員の皆様で何か良案はありますでしょうか。

委員：ボランティア講座は若い方が参加できるような内容が必要かと思えます。

委員：既存団体のリーダー養成講座なのか、それともこれから市民活動を行いたいという方も含めての講座なのかによって内容も変わってくると思えます。対象はどのように考えていますでしょうか。

センター長：ボランティア講座については登録団体のみ参加対象と考えております。

委員：どちらの団体もリーダー交代時が大きな節目となりますので、リーダーが変わった時に、新しいリーダーに向けて周知した方が良いのではないのでしょうか。

センター長：ご意見を踏まえながら調整していきたいと存じます。

委員長：4 ページ目の説明を求めます。

センター長：資料4 ページ目につきましては、広報活動ということで「サポセンだより」を定期刊行物を年4回発行し、自治会の定期回覧、公共施設等を通じて配布を行っております。内容としましては、サポートセンター事業の紹介や登録団体の活動紹介などを掲載しております。

次の市民公益活動相談会については、1回目は定例事業として毎月第1月曜日に「なん

でも相談日」を設けて実施し、2 回目は「助成金」の活用について講師をお招きして講座形式で実施いたします。4 ページ目のご説明は以上です。

委員：毎月第1月の相談の利用はあるのでしょうか。

センター長：ありません。

委員：サポートセンターの日々の業務の中で、団体からの他愛ない内容の話も受けてくれていますので個々に解消できていると思います。

委員：各団体へ周知が不十分かもしれません。広報はどのように行っていますでしょうか。

センター長：サポセンだよりやホームページ等で行っております。

委員長：サポートセンター運営協議会の委員として、相談が0件という現状を踏まえて、改善に向けて審議すべきだと思います。

センター長：佐倉市はNPO団体等の大きな団体が少なく、小さい団体がほとんどで趣味的な団体やサークルが多いのでこのような結果になっていると思われます。

委員：各団体に「お悩みなんでも答えます」といった趣旨の文書を配布してはいかがでしょうか。

センター長：そこまで大々的にしてまいりますと2人体制では対応できなくなることが予想されます。

委員：「なんでも相談」という名称があまりに漠然としていますので、運営上の課題や悩み事に対する相談にのりますと言った方が利用していただけるのではないですか。

センター長：今後の検討課題とさせていただきます。

委員長：他に、委員の皆様、または事務局より何かございますでしょうか。無いようでしたら、本日の会議を終了いたします。委員の皆様におかれましては、長時間にわたる協議にご協力をいただきまして、ありがとうございました。

今回の会議の議事録署名人については、委員長の私のほか、名簿順に高梨委員にお願いいたします。それでは、進行を事務局にお返しいたします。

5. 閉会

事務局：長時間にわたり、ご協議ありがとうございました。本日いただいたご意見、ご提案の内容を踏まえまして、今後のサポートセンターの事業に活かしてまいります。それでは以上をもちまして、平成27年度第1回市民公益活動サポートセンター運営協議会を閉会いたします。

平成27年10月28日

議事録署名人

委員長 森田 敬介

委員 高梨 直子